

ふくおかフィナンシャルグループのお取引先企業の中から、サステナブルファイナンスやSDGsコンサルティングをご利用いただいた企業のサステナビリティの取り組みをご紹介します。

〈今回ご紹介する企業〉

株式会社アイ・リンク ホールディングス

代表取締役

いし じま ひさし

石島 久司 氏

取引店／福岡銀行 箱崎支店

全体最適でグループ潜在価値を
バリューネットワークと戦略的M&Aにより実現する

北関東から九州にかけて
物流ネットワーク

当社は群馬県太田市に本社を置く、総合物流のホールディングカンパニーで、トラック輸送と倉庫業を中心に、国内のグループ企業15社を、海外の11拠点を含め展開しています。グループ合わせて500台を超える輸送用トラックと、20万平方メートルを超える倉庫を保有し、北関東、中部、関西、九州の各拠点をネットワークで結んでいます。

保管、そしてお届けする製品は、食品や機械部品、家電製品など様々ですが、当社は保管や輸送のノウハウと設備、さらには様々な形態の車両を保有しており、幅広い物流ニーズに的確に対応できる体制を整えることで、高品質な総合物流サービスを提供しています。物流サービスのみならず、物流コンサルティング会社や自動車整備工場、人材派遣会社なども傘下に置き、最適な物流システムの提案を行えることが当社の強みです。1989年に福岡県内に営業所を開設して



対談中の様子(左から石島社長、福田支店長(福岡銀行))

以降、多くの九州のお取引先様に支えられています。

群馬県内の木材輸送が起源

私の祖父である石島喜八^{きはち}が群馬県内で「石島運送店」を創業したのが1933年です。創業当時は木材を中心に運んでいましたが、戦後は石島運送株式会社、株式会社石島運輸倉庫へと組織や名称を変更しつつ、今に至るまで規模を拡大してまいりました。「真心つなぎ人財^{ひと}づくり」を経営理念に、そして「チェンジ & チャレンジ」をグループのスローガンに掲げ、この4月に新中期経営計画がスタートしました。事業の拡大にあたっては、これまでM&Aを積極的に活用してまいりましたが、むやみやたらとエリアを拡大することは考えておらず、エリアを限定し、そのエリア内のシェアを拡大しようというのが当社の戦略です。M&Aで新たに迎えた会社の効率化と人財づくりに、多くの時間と費用を投資しています。これからはこれまでに人的資本経営に注力してまいります。前年度、グループ全体での年商は124億円を達成しましたが、創業100周年を迎える2033年には年商300億円を目指しています。



石島運輸倉庫西日本の外観

進化する経営理念

当社はもとより、「真心はこび人づくり」という経営理念を掲げていましたが、M&Aによって事業領域が拡大していくにあたり、検品・検針

会社や、整備工場、人材派遣会社等が新たに加わったため、「はこび」だけでは事業範囲が括れなくなり、「真心はこび」という経営理念ではグループ従業員の意思統一に支障をきたすだろうということで、「真心つなぎ」という言葉に進化させたのです。「真心つなぎ」という言葉には、当社のような物流業界、流通業界の中で、「人から物を、真心を込めてつないでいこう」といった思いを込めています。当社グループの全従業員がその思いを共有することで、これから様々な困難や問題が発生しても、きつと解決していけるものと考えています。当社はグループ従業員を人財と考えており、材料の「材」ではなく財産の「財」、つまりは社会の財産となる、そういった人の集まりを目指していこうという思いで経営理念を刷新しました。

持続可能性への取り組み

当社は以前から、できる限り環境に負荷をかけないよう、保有トラックを順次低排出ガス車に切り替えたり、事務所と倉庫の照明をLED化したりと、とくに環境面を改善するSDGsの取り組みが続けてまいりました。ところが、こうした取り組みがはたしてどの程度世の中に貢献



低排出ガスの同社保有トラック

できているのか、評価できる手段がなかったのです。もしも貢献できているのであれば、当社の取り組みを公開することで、まずは当社の社員が誇りをもって働いてもらい、さらには流通業界のイメージを向上させたいと考えていました。

SSIndexの受検と 〈FFG〉ポジティブ・インパクト・ ファイナンスの利用

そう考えていたところに福岡銀行箱崎支店から、SSIndexと〈FFG〉ポジティブ・インパクト・ファイナンスの提案を受けたため早速受けてみることにしたのです。SSIndexでは当社のサステナビリティ活動の充分なところと、まだまだ不足しているところが同業他社との比較で理解できたほか、〈FFG〉ポジティブ・インパクト・ファイナンスではこれまで当社が取り組んできたサステナビリティ活動を細かな点まで洗い出したうえで、こうした活動を評価してもらえて、当社がまだ満足できていない部分を改めてKPIとして設定しました。このことは当社が新中期経営計画に掲げた、社内への理解浸透というインナーブランディングと、社外への認知拡大というアウトワーブランディングの取り組みに即座に役立てられました。

流通業界にかかわる企業として、製品ならびに商品のエンドユーザー様から直接



〈FFG〉ポジティブ・インパクト・ファイナンス実行の証、記念楯を贈呈(左から石島社長、福田支店長)



ISO9001の品質管理のもと幅広い流通加工ニーズに対応

お声をいただくことはほとんどありません。しかし「アイ・リンクグループさんに頼んで良かった」というお声を掛けていただけることを常にイメージしながら、これからもお取引先様の信頼に応え続けたいと考えています。

株式会社 アイ・リンクホールディングス

■本社所在地：〒379-2304 群馬県太田市大原町2448-1

■代表電話番号：0277-78-6454

■事業内容：アイ・リンクグループ全体の戦略ブレーン

物流・運送会社様へのプロフェッショナルコンサルティング

■グループ企業：株式会社石島運輸倉庫、株式会社石島運輸倉庫西日本、全京運輸株式会社、

株式会社アイ・リンクサービス、株式会社アイ・ロジアドバンス、株式会社マルトウ、平和自動車工業株式会社、

ギャバンス株式会社、株式会社協栄運輸、大西運輸サービス株式会社、内畑運送株式会社、

株式会社ニッタル運輸、株式会社崎戸運送、株式会社福岡輸送、フレックス物流株式会社



FFG公式YouTubeチャンネルでは同社の石島社長にインタビューしています。こちらをご覧ください。



FFGでは企業のESG／SDGsの取り組みを支援しています

FFG公式
チャンネルはこちら



ふくおかフィナンシャルグループ
営業統括部 サステナビリティ推進企画グループ
■お問い合わせ：TEL.092-723-2512

サステナビリティに
関することは
何でもご相談ください

ふくおかフィナンシャルグループのお取引先企業の中から、サステナブルファイナンスやSDGsコンサルティングをご利用いただいた企業のサステナビリティの取り組みをご紹介します。

〈今回ご紹介する企業〉

PINCH HITTER
ピンチ ヒッター
ジャパン
株式会社

代表取締役

よし おか たく や
吉岡 拓哉氏

取引店／十八親和銀行 大村中央支店

「モットイナイ」を世の中から限りなく減らすコトで多くの人を豊かにする

ATTARIMAEを疑うコトで
新たなコト(価値)を誕生させる

当社は2014年に私が前職で培った営業力を基に、店舗向けLED販売を川口取締役副社長と2名体制でスタートしたのが始まりでした。

その後LEDの販売を通じて、スポーツ用品店との出会いもあり、個人向け野球商品をメインとした小売業へ事業転換しました。スポーツ用品店で眠っている在庫を当社が買い取り、ECサイトや

全国にある当社のネットワークにて販売するシステムを構築しました。

またスポーツ用品のなかでも、スポーツウェアの在庫がネックだという声が多く、アパレル業界に刮目するようになり、アパレルに注力した法人在庫買取事業を開始しています。

法人在庫買取事業開始の背景としては、アパレル業界で発生している大量の廃棄物を減らしたいという観点や世の中の雇用を守りたいという観点がありました。



法人在庫買取保管の様子

アパレルファッションは流行の期間が短く、世界的に大量に生産され、未使用なものも大量に廃棄されています。加えて在庫を大量に抱えてしまい倒産するケースも少なくありませんでした。現在では「今あるマーケットを最大化していう」というテーマを掲げ、法人在庫買取・再流通事業、事業買取・売却事業などを主力事業として運営しています。これまでも仲介という分野は



新設本社

存在していましたが、スピーディーに資金化を実現出来るように、一度当社が買取をする形でサービスを提供しています。早期売却による資金化を求めた企業様の本質的なニーズに対応出来るサービスだと考えています。

倉庫マッチングサービス「カリレル」

当社は「自分たちが使いたいサービスを作ろう」という声から始まったサービスとして、運送会社の空き倉庫（スペース）と小売業などの倉庫を必要としている企業を繋げる倉庫マッチングサービス「カリレル」を開始しました。同事業は当社と販売先の共通の課題であった倉庫不足を解消する為に、運送会社が保有している遊休スペースを事前に登録して、保管スペースが必要な先とマッチングするサービスとしています。こちらのサービスでは希望にあった倉庫情報の提供から、商品の配送手配まで対応しています。

関連会社による

事業買取・事業売却事業

私は全国的に休廃業及び解散したい企業が高い水準となっており、国内雇用・国内GDPが失われる可能性があることを懸念していました。関連会社である株式会社R・E・BROTHERSは、中核企業である当社の法人在庫買取事業ビジネスのノウハウを活かして、2022年11月より事業を本格的に開始しています。株式会社R・E・BROTHERSでは、ECサイトやYouTube

アカウントなどのインターネット上で行われる事業の売買を中心に取り扱っています。

エンゲージメントを高める

私は若い人が働きたいと地元長崎に残る環境を当社が担いたいと考えており、当社独自のユニークな制度等を採用して時代のニーズに沿った対応をしています。本社は木材を生かしたリラックスできるインテリアを採用し、社員用のカフェも併設するなどして、働きやすい環境を整えています。

また人材育成についても「自力をつける」「仕組みを作る」というテーマをもとに注力しています。具体的には外部講師による営業に関する勉強会やプレゼン大会等を定期的に実施しています。ほかにも私自身が参加する従業員とのランチミーティング等を行うなどしてマネジメント部門の強化も行っています。

ダイバーシティの実現に向けての活動

当社は若い女性が多く在籍しており、役職者としても活躍しています。子育て世代の女性が働きやすい休暇制度を導入したり、福利厚生

一環として美容手当、ランチ手当などを支給して、女性が活躍出来る環境を提供しています。当社は女性活躍を推進している企業として「WOMAN'S VALUE AWARD 特別賞」等を受賞しています。



WOMAN's VALUE AWARD2023 特別賞

アジア太平洋地域 急成長企業ランキング・ 日本急成長企業ランキング

当社は全国の大手リサイクルショップやデイスカウントストアから地方の小売店まで幅広いチャネルを設けることにより、豊富な取扱商品と販売実績を誇っています。

2022年には多くの利用企業様の力添えもあり、「アジア太平洋地域急成長企業ランキング」「日本急成長企業ランキング」において受賞することが出来ました。今後も常に変化に対応して、皆様のニーズに合わせたサービス・経営体制を

【2023年情報】

アジア太平洋地域急成長企業ランキング：

275位／100万社中

卸売部門：5位

日本急成長企業ランキング：64位

成長率：191% (2018年～2021年)

【2022年情報】

アジア太平洋地域急成長企業ランキング：

149位／100万社中

小売部門：5位

日本急成長企業ランキング：38位

成長率：426% (2017年～2020年)

構築し、もったいないを限りなく減らすことで、多くの人を豊かに、また笑顔にしていけるよう努力してまいります。

サステナブルファイナンス

十八親和銀行の「FFG」ポジティブ・インパクト・ファイナンス」を利用

2024年3月に取引いただいている十八親和銀行大村中央支店にて、本社新設の資金として、サステナブルファイナンス（FFG）ポジティブ・インパクト・ファイナンスを利用いたしました。

このファイナンスは、FFG独自のESG／SDGs評価サービス「Sustainable Scale Index」による評価結果や国際的なインパクト算定ツールを基に対話を重ね、当社の活動が環境・社会・経済に与えるポジティブならびにネガティブな影響を分析・特定し、ネガティブな効果を低減しながらポジティブな効果を増大（KPIを設定）させることで、当社の持続的な成長につながるよう、十八親和銀行が中長期的な伴走支援を行う商品です。作成いただいた評価書は、



〈FFG〉ポジティブ・インパクト・ファイナンス実行の記念楯を贈呈
(左から吉岡社長、十八親和銀行大村中央支店 森田支店長)

十八親和銀行のホームページで確認できますので、ご覧いただければ幸いです。

今回、当社の活動が環境・社会・経済に与える影響を分析・評価していただいた結果を踏まえ、「毎年1,000万点以上の在庫買取取扱商品数を達成する」、「2034年度までに女性役員を1名誕生させる」、「2044年度までに資本提携・M&Aを合計3先行う」などの目標を7つ設定いたしました。これによりさらに成長出来る企業を目指し、社員一丸となって努力を続けてまいりたいと思います。

PINCH HITTER JAPAN 株式会社

■本社所在地：〒854-0045 長崎県諫早市新道町71-5

■電話番号：0957-56-9400

■事業内容：法人在庫買取事業



FFG公式YouTubeチャンネル
では当社へインタビューして
います。
こちらをご覧ください。



FFGでは企業のESG／SDGsの取り組みを支援しています

FFG公式
チャンネルはこちら



ふくおかフィナンシャルグループ
営業統括部 サステナビリティ推進企画グループ
■お問い合わせ：TEL.092-723-2512

サステナビリティに
関することは
何でもご相談ください

ふくおかフィナンシャルグループのお取引先企業の中から、サステナブルファイナンスやSDGsコンサルティングをご利用いただいた企業のサステナビリティの取り組みをご紹介します。

〈今回ご紹介する企業〉

せいぶどうろ
西部道路株式会社

代表取締役

もと おか まじこ

本岡眞氏

取引店／十八親和銀行 佐世保本店営業部

人と地域をつなぐ、未来への道づくり

舗装工事をメインとした
道路舗装業者

当社は創業者である綿元^{わたもと}實^{みのり}が1948年に長崎県佐世保市にて、当時満州地域で自ら経験したアスファルト工事の仕事を続けたいという思いから、道路・舗装工事を中心に事業を開始しました。1981年に日本道路公団からJV（※）による初の大型工事受注をするなどして、事業規模も順調に拡大してきました。現在では道路・舗装

工事以外にもアスファルト製品製造販売や産業廃棄物処理業なども行っています。また関連会社5社を含めた6社で西部道路グループを構成しています。関連会社からの資材仕入を行うことにより、アスファルト舗装・コンクリート舗装・特殊舗装を西部道路グループで一貫して行う体制を整えています。

※JV：共同企業体制度（ジョイントベンチャー）の略。建設企業が単独で受注及び施工を行う通常の場合とは異なり、複数の建設企業が、一つの建設工事を受注、施工することを目的として形成する事業組織体のこと。



佐世保市福石町の現社屋



昭和40年頃、佐世保市千尽町にあった旧本社にて仕事始め式の際に撮影

環境に配慮した アスファルト製品製造販売

当社は長崎県佐世保市と長崎県対馬市にプラントを保有し、長崎県佐世保市の道路工事を中心として、民間工事・個人向けにアスファルト製品を提供しています。当社が販売するアスファルト合材は、公益財団法人長崎県建設技術センターの承認を受けており、品質の高さを維持しています。また合材プラント施設の排出ガスを第三者へ測定依頼するなどして、環境面に配慮した取り組みを行っています。ほかにも工事等で発生したがれき材等を受け入れて、再生合材・再生路盤材として利用しています。さらに長崎県産の原材料を積極的に使用して、長崎県内で消費を行うことで地産地消にも繋がっています。

3R運動・4R宣言を中心とした 廃棄物に関する取り組み

当社は業種柄多くの資源を利用する業種であり、かつ廃棄物の排出量も多いことから、建設リサイクル法に基づく分別の徹底など、長年にわたり3R運動(Reduce・Reuse・Recycle)に取り組んでいます。アスファルト合材の使用削減の

ため、路面を切削した際のアスファルトを使用した再生アスファルト合材・再生路盤材を工事の際に利用しています。積極的な声掛けにより、今では当社が手掛ける現場の80%で使用されています。またこれらのエコ製品は、長崎県のリサイクル製品として認定を受けています。さらに発生した産業廃棄物の数値を官公庁に削減計画とともに届けており、官公庁を通じて公表しています。

当社は事務所内でも、リサイクルボックスを設置するなどして、4R宣言(Refuse・Reduce・Reuse・Recycle)に従業員に周知徹底しています。この取り組みは、長崎県の長崎プラスチック4R宣言事務所としても登録されています。今後は事務所内で、社内文書を従来の紙ベースから

デジタル化していくことも検討しています。

健康経営推進企業認定取得

「健康経営」とは、従業員等の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践することとされています。企業理念に基づき、従業員等への健康投資を行うことで、従業員の活力向上や生産性の向上等の組織活性化をもたらす、結果的に業績向上に繋がると期待されています。

当社は、今以上に職場環境を良くするために、現在取得している「健康経営推進企業認定」よりハードルの高い「健康経営優良法人認定制度」の取得を目指しています。



長崎プラスチック4R宣言



健康経営推進企業認定

ダイバーシティ実現に向けた活動

当社では現場の高齢者や女性が活躍しやすいように、労働環境を整備しています。具体的には、エレベーター・自動ドアの事務所設置や現場での女性用休憩場の設置を行っています。このように高齢者が活躍しやすい環境づくりを行うことによって、延長雇用者も多数在籍しています。また今後は女性が更に活躍出来る職場環境づくりの一環として「えるぼし認定」の取得や、多様な人材を確保するために外国籍の労働者採用を検討するなど、ダイバーシティを実現すると同時に、当社の持続可能性を高めるための施策を実施・検討しています。

持続可能なサプライチェーン

当社は事業基盤の強化及び地域経済活性化のためには、取引先や協力会社との提携の維持と拡大が重要であると考えています。提携業者を幅広く増加させることによってサプライチェーンを強固にして、当社の持続可能性を高めていく方針としています。

また当社は設立以来、道路建設業の公共性・社会性を理解し、永年に亘り社会資本整備の

担い手としての役割を果たしています。社会インフラに関わる企業の責務として、災害時には人々の生活を守るような取り組みを率先して行っています。災害などにより社会インフラが毀損した場合、人々の生活を守るためには、当社のサプライチェーンを通常レベルと同じ程度に維持しながら、復旧活動を迅速に行い災害対応にあたる必要があると考えています。

日々の活動としても、防災・減災に配慮した道づくりや、安全第一で環境に配慮した原材料や機械の導入など、多岐にわたる方面から日常生活のサポート拡充に努めています。国土交通省・長崎県などと防災協定を結び、有事の際の応急対策作業を迅速に行える体制づくりを構築しています。

サステナブルファイナンス

十八親和銀行の「FFG」ポジティブ・インパクト・ファイナンス」を利用

2024年3月に取引いただいている十八親和銀行佐世保本店営業部にて、サステナブル

ファイナンス（FFG）ポジティブ・インパクト・ファイナンスを利用いたしました。

本ファイナンスは、FFG独自のESG/SDGs評価サービス「Sustainable Scale Index」による評価結果や国際的なインパクト算定ツールを基に對話を重ね、当社の活動が環境・社会・経済に与えるポジティブならびにネガティブな影響を分析・特定し、ネガティブな効果を低減しながらポジティブな効果を増大（KPIを設定）させることで、当社の持続的な成長につながるよう、十八親和銀行が中長期的な伴走支援を行う商品です。作成いただいた評価書は、当社ホームページ・十八親和銀行のホームページで確認できますので、ご覧いただければ幸いです。



本岡眞社長

（FFG）ポジティブ・インパクト・ファイナンスでは、サステナビリティに関する目標を設定する必要があるが、当社では「砕石・砂の地域産資材割合を100%で維持する」、「健康経営優良法人認定制度・くるみん認定・えるぼし認定を取得する」、「外国籍労働者の新規雇用」、「提携業者を増加する」などの9つの目標を設定しました。こちらの目標を社内勉強会を通じて社員一丸となって取り組んでいきたいと考えております。



〈FFG〉ポジティブ・インパクト・ファイナンス実行の記念楯を贈呈（左から本岡社長、十八親和銀行佐世保本店営業部 谷口部長）

西部道路 株式会社

■本社所在地：〒857-0854 長崎県佐世保市福石町4-19

■電話番号：0956-32-2188

■事業内容：道路舗装並びに各種舗装工事、一般土木建築並びに各種防水工事、水道及び下水道管工事、各種アスファルト製品の製造及び販売、生コンクリートの製造及び販売、砕石その他建設資材の製造並びに販売、建設機械の修理整備事業、産業廃棄物処理業



FFGでは企業のESG／SDGsの取り組みを支援しています

FFG公式
チャンネルはこちら



ふくおかフィナンシャルグループ
営業統括部 サステナビリティ推進企画グループ
■お問い合わせ：TEL.092-723-2512

サステナビリティに
関することは
何でもご相談ください